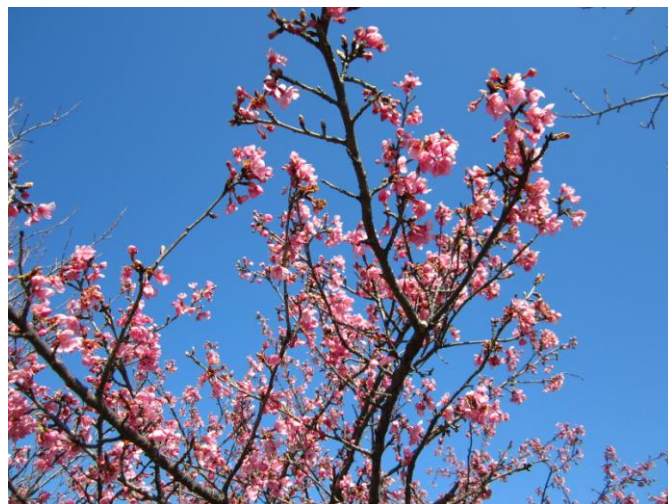


# 麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL 924-2194 FAX 924-2195

2月は、大雪に見舞われ植物も押し潰されそうな状態でした。しかし、その雪も温度の上昇と共にようやく消え、地面からは名も知らない植物が芽を伸ばし、花を咲かせています。樹上に目をやればマンサクの黄色の花びらが、春の陽をいっぱい浴びようと香りを放ちながら咲いています。特に北国に住む人間には、黄色の色に暖かな春を感じます。



## ガーデニングワンプoint

春です！ ガーデニング作業は待ってはくれませんよ。

【水やり】2月の大雪で露地は水分を十分に含んでいます。ただ鉢植えは、これから乾いてきたらたっぷりと樹幹全体にあげます。水をあげるタイミングは表面の土の乾き具合を見て判断します。水やりは、水分を根に届けると同時に新鮮な酸素を供給するのが目的です。根腐れとは、根に酸素が不足した窒息状態のことです。

【肥料】早めに骨粉入りの醗酵油粕などの緩効性有機質肥料をあげます。雪が融けて乾いてきたら行いましょう、寒肥をやることによって春先の芽の吹きが違います。自分の庭に植えてある樹木が、よそのお宅のより色が薄かったり成長が悪い場合がありますか？原因は、植えてある場所の土壌条件や水やり、そして肥料の不足が考えられます。私達は三食として生きています。植物も同じように栄養は必要です。しかし一度にいっぱいあげたからといっても百害あって一利なしです。

【病害虫防除】各種のカイガラムシやアブラムシが、樹木に発生しています。冬季に使用できる薬剤（マシン油乳剤や石灰硫黄合剤）があり効果もあります。但し、この薬剤を散布する時は、特に薬害もあるので使用方法を順守しなければなりません。土壌に撒いて吸収移行して効果のある薬剤もあります。特に草花などには向きます。

【剪定】針葉樹は、この時期に刈込などの剪定作業が適しています。その後に綺麗な新芽を吹きます。特に、強い剪定をする場合はこの時期に！落葉樹も芽が動き出しますので早めに終わらせます。ただカエデ類は、切り口から樹液があふれて樹勢を弱めてしまいますので行いません。常緑広葉樹は、これからが適期となっていきます。サザンカやツバキは、開花後に剪定を行うと次の花芽ができます。大雪で枝が折れた場合は、その個所を切り戻して癒合剤などを縫って保護しておきます。

【植え替え】落葉樹は早めに済ませます。針葉樹や常緑広葉樹はこれからが適期となります。但し、樹種により例外もありますのでご注意ください。植え替える時は土壤にこだわり、灌水などのその後の管理もしっかりと行います。この時期がいちばん枯らすことなく行えます。リガーデン（庭の模様替え）を考えている場合は、この時期が向いています。

## みどりは、なくてはならないものです

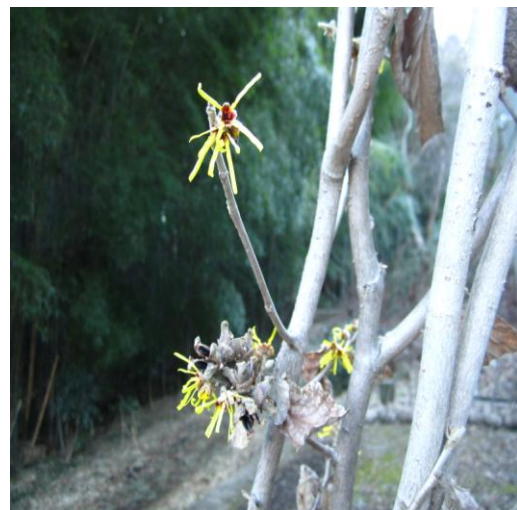
東日本大震災から三年が過ぎようとしています。まだまだ復興は先のように。原発事故という未曾有の大惨事を解決するために手探りしながら前に進んでいる状況です。そこで、少しでも放射能を少なくするために除染作業が行われています。その結果、樹木は剪定・伐採され表土は剝がされて山砂が敷かれている庭を多く目にします。先日、森林除染の話を書く機会があり県の担当者の話では、針葉樹の場合放射能は、現在樹幹に25%が付着し残りの75%は地面に落ちているとの事でした。セシウム134は半減期が過ぎているために自然に減衰して全体的に放射線量が下がってきています。

森林は、面積も広く立地条件も様々なので有効な手段が見つかりにくいようです。みどりは、放射能を多く含んでいるようにとられがちですが、現在の状況を正しく判断して接していきたいものです。

みどりは、私達にとって大切な働きをもっています。


- ①二酸化炭素を吸収し酸素を放出する光合成によって人を含めた動物はその産物を食し生かされている。
- ②地球温暖化を弱める効果や防風・防音などいろいろな効果がある。
- ③忘れてならないのは人間が成長していくうえで精神的にもなくてはならない存在である。

小さい頃からみどりに接した人は穏やかな感情を持った人間に育つパーセンテージが高いといわれています。情操教育になくてはならないのです。みどりには、そのような目に見えないとても大きな効果があることを忘れないでください。樹木を含め植物を取り去れば、線量が下がり安心だと考える事を否定できません。取り去れば下がるのは事実だからです。安心の度合いは人それぞれですし、判断の基準が曖昧なためにみどりを犠牲にするという事も起こります。また一方で、「震災の記憶を忘れることなく後世に伝える」との思いからサクラを植えるプロジェクトなども行われているし、市民参加のみどりの防波堤作りも行われています。



3.11というこの数字がマスコミに踊る頃、身近な里山にはマンサクの黄色の花がまだ僅かな陽を集めて咲き始め、白い雪に覆われた冬に別れを告げるのです。放射能汚染などを心配しないでその黄色の暖かく希望の色を愛でる事が一日も早く訪れる事を望みます。



 <b>緑化啓発【みどりのイベント】</b>		※みどり講習会は10:30から開催。 庭・樹木のことなど樹木医の先生がお答え致します。		
開催日	教室名	内容	定員	
4月20日(日)	記念樹交付及びみどり講習会	記念樹の育て方初歩講座 (季節の管理ポイント) ・大きくなり過ぎたツツジの仕立て直し ・芝生の年間管理について	・記念樹申請者 ・受講希望者	